

歴史 | 探訪

~文化財を巡る~ ⑬

豊岡の文化財を紹介します。皆さんの身近にある文化財を見ていきましょう。

《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

「史跡名勝天然記念物(史跡1)」

史跡名勝天然記念物のうち、史跡として指定されているものは国指定2件、県指定6件、および市指定30件です。歴史上の事件に関係ある場所で、城や城跡、古墳、貝塚、あるいは旧宅などのうち、特に学術的価値の高いものが指定されています。今回は、国指定史跡について紹介します。

但馬国分寺跡

日高町国分寺

天平13年(741年)、聖武天皇の詔を受けて旧国ごとに国分寺が造営され始めました。但馬国分寺も、但馬各地から集まりやすくて、洪水などの心配のないこの地が選ばれ、25年もかけて大伽藍が整えられました。国分寺の中には、金堂、塔、講堂、僧坊、経蔵、鐘楼、中門などの主要伽藍のほか、いろいろな施設がありました。これまでの発掘調査で、金堂や塔、中



門などが見つかっています。また、木簡や瓦、土器など膨大な量の遺物も出土しています。

山名氏城跡(此隅山城跡)

出石町狹狹ほか

室町時代に「六分一殿」と呼ばれた大名、山名氏が南北戦争時代に但馬の守護となり、その居城として此隅山城が造られました。標高140mの山頂に平坦な主郭を構え、四方に伸びる尾根上に削平による曲輪を多数設けています。石垣や大規模な堀切はありません。永禄12年(1569年)に織田信長軍によって落城するま



で、山名氏の但馬の拠点として重要な役割を果たしてきました。

山名氏城跡(有子山城跡)

出石町内町ほか

天正2年(1574年)ころ、山名祐豊によって現在の出石中心市街地の南、標高321mの有子山に築かれました。山頂に主郭と、西に向かって六段の曲輪が階段状に、また東南側には千畳敷と呼ばれる広い曲輪があります。天正8年(1580年)木下秀長の入城後、前野長康、小出吉政が城主となりました。頂上には見事な石



垣が築かれています。小出吉英の時に城を山麓に移したため、廃城となりました。

語句の解説

- ・詔…天皇のことば。聖武天皇は仏教を広めることで、世情不安を解消しようとした。
- ・伽藍…寺院を構成する主要な部分。寺院によって伽藍配置の違いがある。
- ・六分一殿…山名氏の領地が、全国の六分の一にも広がっていたために、こう呼ばれた。
- ・郭・曲輪…防御陣地や建造物を建てる敷地で、城の最重要施設。本丸、二の丸などの「丸」は、江戸時代以降に使用される用語。

但馬国分寺跡は「但馬国府・国分寺館」に、山名氏城跡は「いずし古代学習館」に展示や解説があります。詳細は、こちらをお訪ねください。

【お詫びと訂正】

6月25日号、40ページの「歴史探訪」の中の「金剛寺文書『足利尊氏寄進状』」で「相坂社」とあるのは「押坂社」の誤りでした。お詫びし訂正します。

発行/豊岡市
編集/政策調整部秘書広報課
〒668-1866
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL http://www.city.toyooka.lg.jp

〒668-1866
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL http://www.city.toyooka.lg.jp

(総合支所)
竹野 ☎47-1111
出石 ☎52-3111
日高 ☎54-4232
但東 ☎54-1100
城崎 ☎32-1000